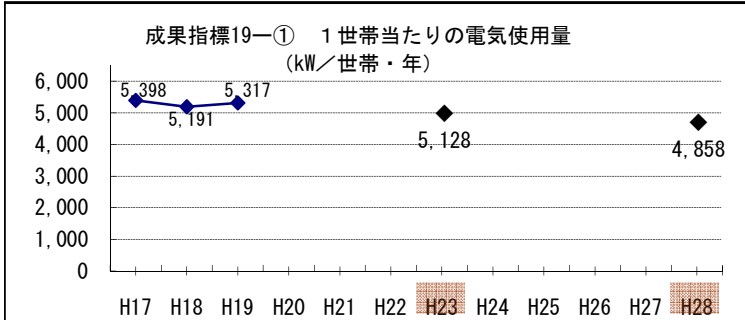
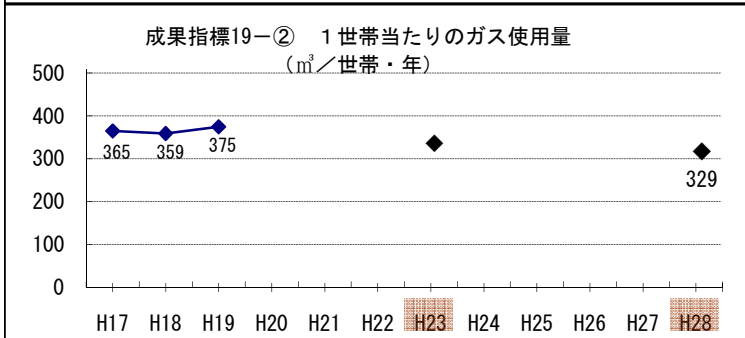


柱	4 共通基盤
分野	K 地球
ビジョン	自分達の手でライフスタイルを見直し、 きれいな地球を守る



**主な事業**

太陽光発電システム補助  
高効率給湯器設置補助  
地球環境講演会

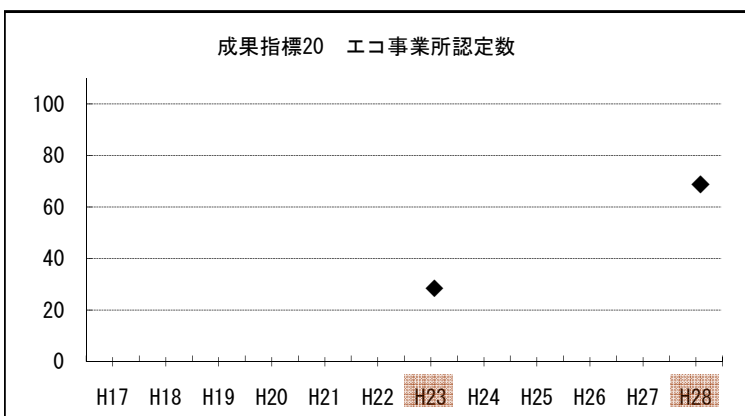


**計画通りに成果が上がっているか**

- 目標達成
- 順調
- 順調でない

**成果指標の分析**

18年度は減少したものの、19年度は増加に転じ17年度水準と同程度となった。増加の原因としては厳冬、家庭内の電化製品総量の増加などが考えられる。



**主な事業**

**計画通りに成果が上がっているか**

- 目標達成
- 順調
- 順調でない

**成果指標の分析**

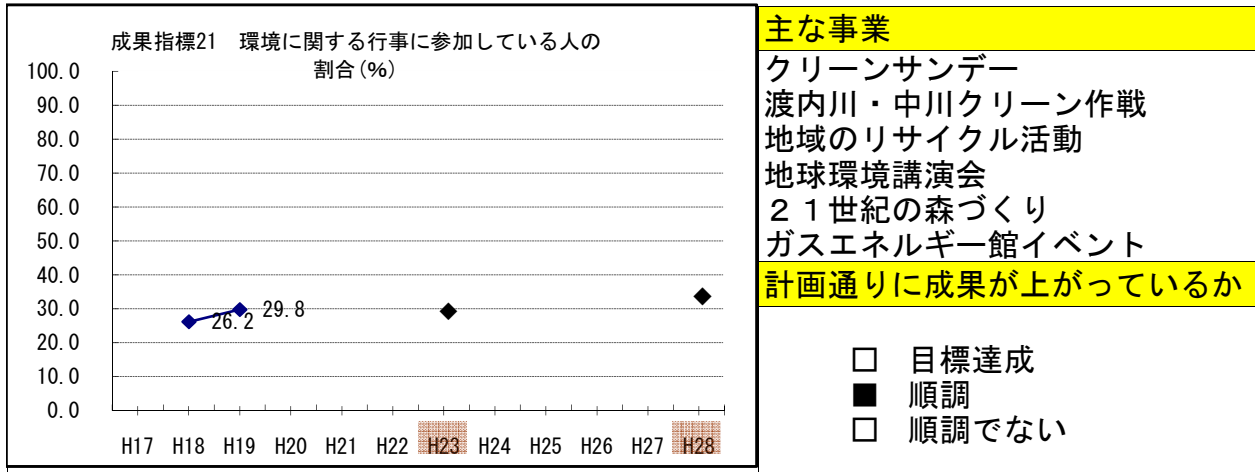
エコ事業所認定事業は、入札制度での優遇等、認定事業所に対する優遇措置について調査研究中のため、制度の開始に至っておりません。今後、指標自体を含めて検討が必要である。

成果が向上する余地（可能性）は？  大  中  小

**成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針**

家庭でのエネルギー消費はライフスタイルや気温と密接に係わっている。これらについて劇的な変化は望めないため、PRや省エネ・低炭素排出型機器の普及促進を続けていく。  
また、エコ事業所についての調査研究を継続する。

柱	4 共通基盤
分野	L 環境学習・人づくり
ビジョン	学・思・行 相まって、未来につなげる人づくり



**成果指標の分析**

23年度目標数値に迫っており順調である。増加要因として、セミナー・講習会の13人増、地域の清掃活動の21人増、地域のリサイクル活動の21人増が挙げられる。

**成果が向上する余地（可能性）は？**       大     中     小

**成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針**

参加者数の多い地域の清掃活動、地域のリサイクル活動に環境学習要素を取り込むことができれば、より一層効率的な学習効果が期待できる。  
また、事業所やNPOとの協働・共創によりエコスクールを充実させ、参加の機会を増やしていく。